

琉球大学学術リポジトリ

米種改良事業計画書 花連港廳

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄, 台湾, 米, 計画書, 花連港庁 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38246

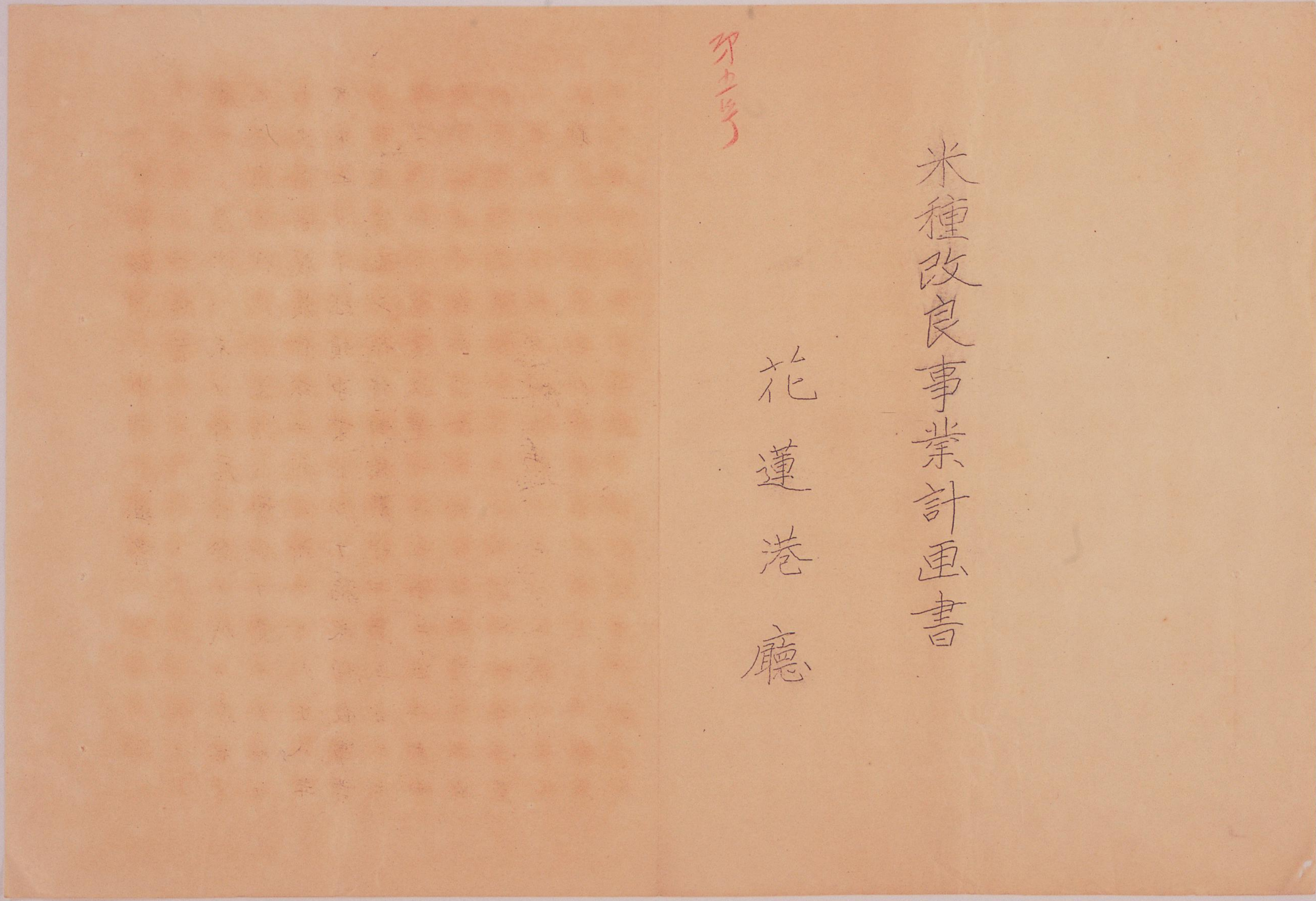
矢内原忠雄文庫

史料名	米種改良事業計画書 花連港廳
封筒番号	336
原文所所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 16 日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

矢内原忠雄文庫

封筒番号 : 336

史料名	米種改良事業計画書 花連港廳
資料形態	B4/ガリ
枚数	13
页数	26
縦 (cm)	
横 (cm)	
厚さ (cm)	
書誌的事項	台湾 第五号と朱書きあり 今泉分類記号 :



牙少(号)

花
蓮
港
廳

米種改良事業計畫書



1/12

米種改良事業計畫書

一 趣旨

廳下ノ産米ハ未タ自産自給ノ域ニ達セス
之カ爲メ住民ハ生活ニ脅成ヲ受ケタルコ
ト久シ當廳農會茲ニ觀ル所アリ大正八年
度未セ々年繼續事業トシテ稻米增收事業
ヲ企画實施シ作付面積累計二千五百二十
六甲一分ニ重其收量一萬七千四百八十一
石ヲ增收シ計画當初ニ於テハ二萬六千石
内外ノ搬入米アリシモノ大正十四年ニ至
リテハ之ヲ七千四百二十九石ニ減少セシ
メ廳下ノ産米需給調節上貢獻シタル所甚
夕大ナリシカ該事業實施中屢々不測ノ障

碍ヲ蒙リ爲メニ豫期ノ如ク優良稻種ノ普
及ヲ見ルニ至ラス今尙雜駁ニシテ生産力
ニ乏シキ稻種ヲ栽培セルモノ多キハ産米
增收上甚タ遺憾トスル所ナリ
今若シ廳下各地ニ現存セル劣等品種ヲ淘
汰シ强健多産ニシテ品質優良ナル稻種ニ
更新シ耕種肥培ノ改善ヲ併セ行フニ於テ
ハ現在ノ不足米七千余石ヲ增收シ産米自
給ノ實ヲ攀クルハ敢テ至難ノ業ニアラサ
ルノミナラス産米品質向上ニ伴ヒ直接農
民ノ受クヘキ利益蓋シ鮮少ナラサルヘシ
是レ本廳カ米種改良事業ヲ企画實施セン
トスル所以ニシテ依テ産業ノ開発ヲ期シ

地方經濟ノ向上ヲ計ラントス

二目的

廳下ノ風土ニ適シ強健多産ニシテ品質優良ナル稻種ヲ選擇限定シ劣等品種ノ淘汰異品種並ニ紅米ヲ除去シ管内米種ノ改良統一ヲ圖ルヲ以テ目的トス

三施行區域

花蓮港廳管内一圓
但前記區域内ニアリテモ其一部ニ事業ヲ施行セサルコトアルヘシ

四施行期間

本事業ハ四ヶ年繼續事業トシテ大正十五年
年度ニ着手シ大正十八年度ニ終ル

五施行機關

本事業ヲ施行スルタメ左ノ職員ヲ置ク

主任 一名

技手 若干名

助手 若干名

囑託 若干名

職員ハ本廳及支廳ニ分屬シ上司ノ指揮ヲ

兼ケ業務ニ從事スルモノトス

支廳長ハ特ニ當該支廳區域内ニ於ケル本

事業執行監督勵行ニ任スルモノトス

六實行方法

現在農家ノ栽培セル水陸稻兩期作ニ付各
一基本調査

戸ノ品種別播種量ヲ調査スルモノトス
調査方法ハ各派出所毎ニ當該区域内ノ農
民全部ヲ招集シ事業関係者立會ノ上文廳
長ヨリ本事業ノ趣旨及其實行方法ヲ詳細
説明シ第一号様式ノ調査票ニ依リ米農者
各戸ニ付技術員之ヲ調査シ第二号様式ノ
集計表ヲ作製スルモノトス
前項集計表ハ其副本ヲ本廳並各派出所ニ
送付スヘシ
本廳ハ全区域内ノ總括集計表ヲ作製ス
支廳ニ於テハ技術員ヲシテ別ニ第三号様
式ニヨリ各派出所区域内ニ於ケル作付ノ
最多キ優良品種ト称スル数品種ニ付特性
調査ヲ施行セシメ標本ト共ニ本廳ニ送付
スヘシ

(二) 品種限定

支廳長ハ各派出所毎ニ播種量及特性調査
ノ成績ヲ基礎トシ技術員派出所警察官更
街庄區長農業組合長老農米商保正甲長頭
目其他農民多数ノ意見ヲ参酌シ收量最多
ニシテ且ツ品質優良ナル数品種ニ限定シ劣
等品種ノ淘汰並ニ同種異名異種同名ノ品
種ヲ整理シ区域内品種ノ統一ヲ計ルモノ
トス
品種ノ限定終ラハ技術員ハ第四号様式ノ
調査票ニ依リ米農者各戸ニ付其希望品種

別數量ヲ調査シ芽ニ号様式ノ集計表ヲ作
リ其副本ヲ本廳並ニ派出所ニ送付スヘシ
本廳ハ全區域内ノ總括集計表ヲ作製ス

(三) 採種

原種子ハ大正十五年第一期作及第二期作
ニ於テ花蓮港廳農會農場及一般農家ノ稻
田中ヨリ之ヲ採種ス
原種子ノ採種量ハ選種及貯藏中ノ減耗量
並ニ將采ニ於ケル作付面積ノ増加ヲ見込
ミ限定品種別所要種子量ニ五割ヲ加算シ
四十倍ノ蕃殖率ニ依リ算定ス
採種田ハ各支廳毎ニ穗揃期ニ於テ技術員
派出所警察官吏農業組合長保正甲長頭目

四

老農等實地踏査ノ上豫送ヲ行ヒ主任之ヲ
決定ス
採種田選定ノ標準左ノ如シ
同一品種ヲ廣ク栽培スル^{地方}中央部ナルコト
地味中等ニシテ灌溉排水共ニ便ナルコト
生育齊一ニシテ異品種ノ混淆少キコト
耕種肥培適當ニシテ該品種ノ特徴ヲ具備
セルコト
病虫害ノ駆除豫防充分ナルコト
耕作者ハ農事ニ精通シ一般農民ノ信頼厚
キ者ナルコト
採種田ノ選定終ラハ其耕作人ヨリ芽五号
様式ノ承諾書ヲ徴スルモノトス

秣種田成熟期ニ達セハ技術員ハ專業關係者立會ノ上拔穂ヲ行ヒ五本宛結束シ乾燥シタル後更ニ異品種又ハ紅米ヲ除去シ主任ノ檢閲ヲ經タル後之ヲ脱粒シ一品種毎ニ特定ノ容器ニ入レ技術員之ニ封印シ水陸稻期作粳糯別品種名数量採種年月日耕作人及保管人ノ住所氏名ヲ表記シ適當ナル場所ニ貯藏スヘシ但シ此採種叔ハ之ヲ買收ス

拔穂ノ標準左ノ如シ

品種ノ特性ヲ具備スルコト

總ハ長大ニシテ着粒密ナルコト

粒形齊一ニシテ充實セルコト

成熟齊一ニシテ稈剛健ナルコト

(四) 蕃殖

原種子ハ之ヲ蕃殖田ニ於テ二回蕃殖ヲ為ス

但シ蕃殖田ニ要スル種叔ハ本廳ヨリ之ヲ支給ス

蕃殖田ノ生産種子ハ第一回ノモノハ之ヲ買收シ第二回ノモノハ一般米農者ト交換セシム

第一回蕃殖ヲ為スヘキ品種及其數量ハ曩ニ第四号様式ニヨリ調査シタル限定品種希望數量調ニ依リ決定ス

第二回蕃殖ヲ為スヘキ品種及數量ハ第四

号様式ニ依リ更ニ希望品種ノ異動調査ヲ
行ヒ之ヲ決定ス
蕃殖田ハ各支廳毎ニ之ヲ設置シ担当者ヲ
定メテ技術員指導ノ下ニ委託栽培ス
蕃殖田ノ苗代及本田ニハ標札ヲ建ツヘシ
標札ハ本廳ヨリ之ヲ支給ス
蕃殖田苗代及本田ノ作業ハ凡テ技術員監
督ノ下ニ担当者ヲシテ之ヲ行ハシメ特ニ
他品種ノ混入防止ニ就テハ周到ナル注意
ヲ拂ヒ病虫害ノ駆除豫防其他ノ障碍等ニ
関シテハ機宜ノ處置ヲナスヘシ
第一回蕃殖田苗代ハ一坪ニ合播トシ本田
ハ一本植トナス

六

第二回蕃殖田ノ栽培法ハ本島在来法ニ據
ル
蕃殖田ハ收穫前適當ノ時期ニ於テ異品種
ヲ除去シ收穫期ハ特ニ區分シタル乾燥場
ニ於テ十分乾燥シ二回唐箕送ヲ行ヒ夾雜
物ヲ去リ所要數量ヲ採種ス
蕃殖田送定ノ標準左ノ如シ
肥瘠中庸ニシテ灌溉排水共ニ便ナルコト
所要面積集團シ地力均一ナルコト
管理ニ便ナルコト
担当者ハ稲作ニ精通シ業務ニ熱心ニシテ
理解アリ一般農民ノ信頼厚キ自作者ナル
コト

(四) 種籾ノ交換貯蔵
茅ニ回蕃殖田ヨリ生産シタル種籾ハ技術員派出所警察官吏農業組合長保正甲長頭目等立會ノ上之ヲ一般米農者ト交換セシム
交換ノ際米農者ハ希望スル種籾數量ニ對シニ割増ノ在米籾ヲ提供スルモノトス
交換シタル種籾ハ各自在米籾ノ附着セサル布袋ニ納メ技術員之ヲ結束シタル后封印ヲ施シ播種期迄適當ノ場所ニ貯蔵セシムルモノトス
技術員ハ時々種籾貯蔵所ヲ巡視シ他品種ノ混淆又ハ鼠害ノ豫防ニ努ムヘシ

七

(六) 播種及挿秧
苗代時期到來セハ技術員ハ常ニ巡視シテ浸種蒞莖及播種法ヲ指導スルト共ニ品種ノ混淆ヲ防キ播種終ラハ農民各自ニ品種名播種量及自己ノ住所氏名ヲ記シタル標杭ヲ建テシノ限定品種以外ノ播種ヲ豫防スヘシ
挿秧時ニ於ケル縮苗ノ混植ヲ防止シ産米ノ純度及生産力ノ保持ニ努ムヘシ

(第一号形式)

特性調查表

大正 年

第 期

作

調查項目		特	性	調查項目		特	性	調查項目		特	性
葉鞘色	葉文	葉色	中	長	收獲月日	成熟月日	插秧月日	播種月日	產地	品種名	
量		收		芒		精		白		步留	
脫粒、難易	重玄米一斗	玄米量	甲米量	歩米量	重玄米一斗	葉一斗	批一斗	批一斗	米風味	炊粘力	糠量
農	農	農	農	農	農	農	農	農	農	農	農
希	民	抵抗	力	旱害	對	病虫	風水	米	炊	白	精
望	民	力	力	對	水	味	水	味	力	量	量

花		穗			日月穗出		稈						
柱頭色	形	粗	着	穗	枚	揃	始	根元色	強弱	細太	分蘖	穗首長	莖丈
米		玄			粃								
品質	硬	深	縱	腹	色	形	厚	中	長	多	稈	稈	稈
質	度	淺	溝	白	狀	狀	少	少	少	少	少	少	少
備													
考													

